



代表質問 至誠会 廣部 真造 議員

市政運営について

問 コロナ禍を今後の学校運営に

どう反映するのか

問 コロナ禍において失われた可能性のある様々な教育機会をどのように捉え、今後の学校運営に反映するのか。

答 教育長

答 子どもたちの「自ら考え、判断し、行動する力」を育てていきます。

問 県にまん延防止等重点措置の要請を働きかけるべきではないか。

答 市長

本年1月以降の感染拡大が続く状況において、滋賀県市長会議の場で、直接県に対し、まん延防止等重点措置の必要性を伝えました。県内の病床使用率が70%を超え、更に感染状況が高止まりの状況下では、常に最悪を想定し、積極的に様々な対策を講じる等の対応を求められていると考えております。

問 福井嶺南地域との道路構想にかかる調査結果と今後の方針について。

答 市長

本市の「新たな発展軸」を創り出すものと考えており、引き続き関係機関との意見交換を重ね慎重に検討します。

問 近江今津駅周辺地域の整備方針について。

答 市長

かつて廣部議員からもご提案いただきましたが、サウンドイング型市場調査を実施し、民間事業者が持つアイデ

アを幅広く求め、策定に繋がっていきます。

問 ICT等の活用による支所窓口サービスの向上のための取り組みについて。

答 市長

今後の更なる行政サービスの向上という観点から、ご提案いただきましたICTを使ったリアルタイムの相談対応が可能かどうかも含め、早速関係部局に検討を指示します。

2年間にわたる学校生活の制約や経験は、かえって、子どもたちが本質的に大切なことは何かを自ら考え、今必要なこと、為すべきことを判断し、行動する主体的な学びへと高める転機になっていると捉えております。これからは1人1台配備されましたタブレット端末を活用して、一人ひとりに個別最適な学びはもとより、子どもたち同士が協働し、あるいは学校外の多様な方々との協働を図りながら、主体的な学びを進めるため、探究的な学習を積極的に推進し、「自ら考え、判断し、行動する力」を育ててまいります。

